

令和 7 年 2 月 4 日
北沢総合支所地域振興課

世田谷区立羽根木区民集会所の地域主体による有効活用の検討状況について

1 主旨

羽根木区民集会所は、令和 3 年に廃止、令和 5 年に売却の方向性を示したが、その後の調整で課題が生じ、令和 6 年 9 月 2 日開催の本委員会において、当面は区民集会所としての運営を継続しながら、これまで十分に議論・検討が行われていない地域主体の活動等による有効活用の検討を進める旨を報告した。

その後、住民説明会や地元町会等へのヒアリングを通じ、コロナ禍を経て、地域住民同士のつながりや地域活動間の連携が回復しにくい状況や、羽根木地域で新たに活動を始めするためのグループを組むことの難しさ、区民集会所や地域活動の認知度の低さ等の課題について、共通してご意見をいただいた。

こうした地域課題の解決に資する区民集会所の有効活用策について、地域住民を対象としたワークショップを実施したため、その検討状況及び今後の取組み案について報告する。

2 ワークショップ「羽根木区民集会所 利活用作戦会議」の実施概要

(1) 目的

羽根木区民集会所は、住宅地に設置された規模の小さな施設であり、マンションの一角にあるため大きな音や振動を伴う活動が制限される等の要因に加え、コロナ禍の影響もあり利用率が約 20%と低い状態が続いている。一方、地域が主体となったコミュニティ活動、高齢者や子育て世代が気軽に足を運べる身近な憩いの場、多世代交流、学習の場、防災への取組みなどの充実に向けて、区民集会所の有効活用を求めめるご意見・ご要望もある。

こうした経緯を踏まえ、住宅地の生活圏内で皆が身近に集まれる場所があることの大切さを共有しながら、地域住民同士のつながりをつくり、交流と活動を生み出すための活用方法等、地域主体による有効活用策について検討する。

(2) 対象

羽根木地域の住民、羽根木区民集会所の利用（希望）者など

(3) 実施内容 延べ 58 人参加（20～30 代 4 人 40～50 代 18 人 60 代以上 36 人）

第 1 回	第 2 回	第 3 回
11 月 9 日（土）	11 月 24 日（日）	12 月 8 日（日）
羽根木地域のこんなつながり、こんな活動	「こんな使い方ができたらいいな」を考えよう	まずは「ここから」自分たちができるお試し活動を検討
これからどんな活動やつながりをつくりたい？	使い合う仲間や知り合いを増やすには？	利活用計画をつくってみよう
参加者：26 人	参加者：16 人	参加者：16 人

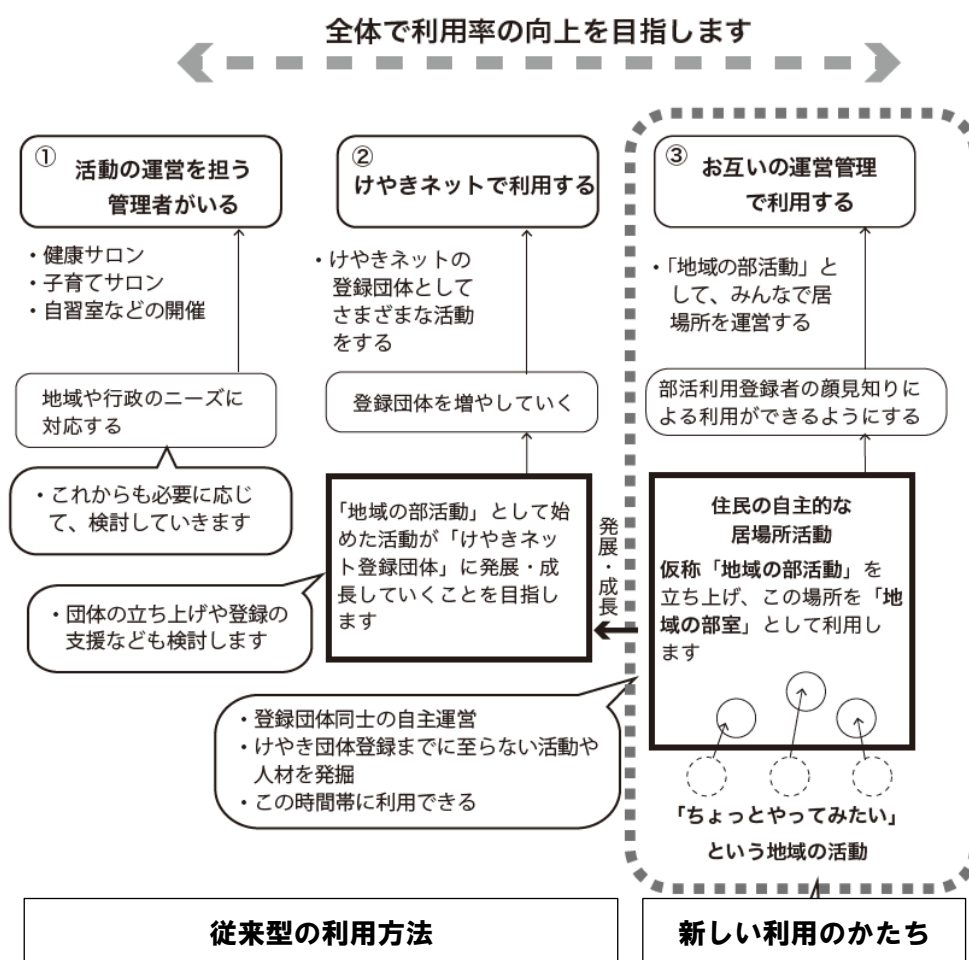
(4) ワークショップの実施結果（まとめ） ※別紙1～3 参照

- ①羽根木区民集会所をとりまく様々な地域活動や地域資源・人材を可視化し共有した。
地域内でこれから活動したいこと、区民集会所のできることの議論が活発に行われた。
区民集会所を活用して新たに活動が始める際、まず5人以上のメンバーを集める必要があることが課題となる。
- ②新たな活動を生み出し発展させていくには、「ちょっとやってみたい」という活動を少人数からでも気軽に始め、活動の実践を通して仲間を増やし、けやきネット登録団体に成長していく仕組みがあると望ましい。この仕組みを(仮称)「地域の部活動」とする。
地域住民による(仮称)「地域の部活動」運営組織を立ち上げ、区民集会所の利用枠の確保、活動の周知、活動間の連携を地域主体で自主的に行えるとよい。
- ③地域住民同士で、まずは「ここから」できる具体的な部活動をまとめた。今後、これらの活動を中心に試行実施しながら、継続的な利活用に向けた検討を行うのが望ましい。
- ④区民集会所そのものの周知や利便性の向上など、根本的な課題にも対応する必要がある。

3 今後の取組み案

地域住民が気軽に集まることができる立地を活かし、地域主体のコミュニティの維持・形成、地域課題に取り組む住民同士の交流と活動の拠点として、以下の取組みを試行することで区民集会所の有効活用を図る。

【羽根木区民集会所 利活用の3つのパターン（ワークショップ第2回のまとめより）】



(1) (仮称)「地域の部活動」の試行的運営

地域主体の活動を生み発展を促すとともに、地域人材や担い手を発掘する役割を担う。

①試行的運営方法（イメージ）

- ・ワークショップ参加者を中心に運営組織を立ち上げる。
- ・2～3名程度の新たに始めたい活動を募り「部活動」として登録する。
- ・当面は、区が「地域自主運営枠」として場所を提供する。
- ・1つの部屋で複数の「部活動」が行われるようにすることで、顔見知りになり、互いの活動に参加し合ったり、譲り合ったりする関係性をつくる。
- ・参加人数が増えてきた「部活動」は、けやきネット登録を行い通常の利用に移行する。

②検討課題（主に運営組織内で検討していく予定）

- ・運営組織の構成、役割、協議事項、開催頻度
- ・部活動登録の条件・スケジュール調整・広報のルール
- ・参加費や会費、助成事業の活用など活動費の調達方法
- ・新たな部活動や担い手等の募集方法

③仮称「地域の部活動」運営支援

- ・運営組織の立ち上げ・運営に際し、区は、地域住民が主体となって中長期的に自立した運営を継続することができるよう伴走支援を行う。住民主体のまちづくりに精通し、経験・実績のある事業者に依頼する（令和7年度概算経費 1,497千円（予定））。
- ・施設の維持管理は、従来どおり区が行う。

【維持管理経費（令和7年度概算経費）】

3,047千円	内訳：施設管理委託料	1,449千円
	警備費	594千円
	清掃費	370千円
	管理組合費及び修繕積立金	505千円
	光熱水費（令和5年度実績）	129千円

(2) けやきネット登録団体の利用率向上

今回の検討を通じて、高齢者向けの活動やスポーツ関連の活動などの新規利用、既存の利用団体の利用拡充の申入れ等もあるため、より積極的に広報や空間環境等の工夫を行うことで定期的・継続的な利用につなげる。

- ・利用促進用のチラシ・ポスター、区ホームページやSNSによる広報の充実
- ・羽根木区民集会所の入口に利用用途、利用方法の案内を掲示
- ・地域活動を促進する資料（活動紹介、メンバー募集等）等の掲出・配架
- ・利用促進に資する備品（麻雀卓等）の確認・設置

(3) 取組みの評価と判断

当面は利用率40%、「1件あたりの総コスト」の全区民集会所平均値を目標に取組みを進め、令和9年度の世田谷区公共施設総合管理計画改訂検討の中で、地域コミュニティや地域課題への寄与も含め、取組みの評価を行い羽根木区民集会所のあり方を総合的に判断する。

4 今後のスケジュール（予定）

令和7年2月～ ワークショップ結果報告及び区の方角性についての住民説明会
 （仮称）「地域の部活動」運営組織立ち上げ準備会の設置
 マンション管理組合と利用条件について協議

4月～ （仮称）「地域の部活動」として活動、運営管理を試行的実施

令和7年度中 準備会の合意を得て、運営組織による本実施

【参考：施設概要】

世田谷区立羽根木区民集会所

所在地 羽根木2丁目8番6号 東松原ハイム内 1階部分

用途 集会施設（建物の主要用途は共同住宅）

専有面積 96.24㎡（区分所有）

構造 鉄筋コンクリート造

用途地域 近隣商業地域

竣工 昭和59年4月

その他 下表のとおり

部屋名称	定員	面積	利用目的
第1会議室	30名	34.48㎡	会議・学習会 俳句・詩歌 手芸 華道 囲碁・将棋 絵画 書道 健康麻雀
第2会議室 （和室） ※Pタイル	10名	20.70㎡	

4つのグループでは、羽根木区民集会所で「これからやってみたいこと」や活用の課題について話し合いました。

<交流や活動を豊かにしていくために>

- 地域の方とつながる
 - ・羽根木の森でやっているマルシェに参加したい！（知らなかった）
 - ・集会所からまちへ、まちから集会所へ（たとえば集会所の活用団体がマルシェに参加、連動した企画を集会所で行うなど）。
- 羽根木のことを知る、生活の役立つ情報のハブにしていこう
 - ・生活の困りごとに対応した情報／地域イベントの企画者情報を発信／町会インスタをつくって発信／羽根木エリアの映像を撮る
 - ・地元の情報 イベント、店などを交換しつつ、定期的におしゃべりする場。
- 集会所の周知、活動自体をお互いに知る
 - ・利用者同士がつながる→今回のWSで実際に会うのは初めてのひとと知り合えた。
 - ・この場所を周知する（マンションの方も気軽に使えるように／閲覧板で使いたい人を募集／SNSの公式アカウントを立ち上げ）。
 - ・情報を伝える掲示板を設置する。
 - ・施設の親しみやすい愛称を募集して命名→募集自体が集会所のPRにもつながる。

<設備や管理など>

- 集会所設備について
 - ・車椅子で入れるトイレ。
 - ・施設の入口を入りやすくする。内部の写真を貼ってはどうか。
 - ・外から中の活動が少し感じ取れるように木を剪定（個人でお手入れしている人もいる）。
 - ・マッサージ椅子があったら、1日1回通う。→場所をとるのが課題。
 - ・健康マージャン卓があるとよい。
- 管理をどうするか
 - ・管理人がいないときは電子錠かセキュリティボックスが使えるか。
 - ・他の区施設とは違った緩やかな管理運営にならないか→ふらっと使えるとよい。

<集会所で行いたい活動>

- 集まれる場
 - ・誰でも参加できるお茶飲み話、お話し場。
 - ・若い人が集まれる場、カフェ。
 - ・暑い中の休憩所にならないか。
 - ・みんなで食事会。→コロナ禍で一人で食事をする高齢者が増えた。外出するきっかけ。
 - ・社協の活動の出張で利用してもらおう。
- 子どもの居場所
 - ・子どものための活動（不登校の子たち向けの利用／子どもが主役のマルシェ／衣料交換会／学習支援／子どもの撮影→ガーデンハウスのスキルを借りる／子どもたちに読み聞かせ→大人も楽しめる、若いお母さんが集まるきっかけになる）。
 - ・障害を持った自宅にいる子の居場所。
- 地域の活動
 - ・健康麻雀（男性や多世代の参加が増える）。
 - ・マルシェができないか。
 - ・コーラス。
 - ・「寿の会」（大原稲荷神社が使えなくなったので曜日などがあれば利用したい）。
 - ・「羽根木で語ろう会」が読書会のテーマにこだわらず、広げて良いかもしれない。
- 仕事もできる
 - ・ビジネス的な無料セミナー／Wi-Fiを利用したコワーキングスペース・シェアオフィス

<利活用の課題>

- 知られていない
 - ・若いお母さんたちも「この場所を知らなかった」という人が多い。
 - ・集会所でやっていることを知っていても誰が企画をしているのか知らなかった。
- けやきネット登録のハードルが高い
 - ・どのように申し込めば良いかわからない。
 - ・けやきに登録するのは面倒と感じるようだ。
- 利用者同士の交流が少ない
 - ・同じ場所を使っている活動同士の交流があるとよい（地域の人の作品など興味がある）。

羽根木区民集会所 利活用作戦会議 第1回のまとめ

羽根木区民集会所を、地域の交流や活動を豊かにしていく場所とするため「羽根木区民集会所利活用作戦会議」を開催しました。

この作戦会議は、地域に皆が集まれる場所があることの大切さをより多くの人に伝えるとともに、利用率の向上を図る方策を、さまざまな立場（区民、区、関係団体など）の人で検討していくものです。

第1回目は4つのグループに分かれて、羽根木区民集会所をとりまくさまざまな活動を出し合いました。その結果は次ページに地域活動・資源マップとしてまとめました。

第2回はこれを元に、より具体的に集会所の活用を考えます。

日時 2024（令和6）年11月9日
10時～12時
場所 新代田区民集会所 体育室
参加者 26人
テーマ 羽根木地域のこんなつながり、こんな活動

第2回以降からも参加できますので、地域の方々でお声がけをして、より多くの方々のご参加をお待ちしています。

「利活用作戦会議」の進め方

第1回 11/9（土） 10～12時	第2回 11/24（日） 10～12時	第3回 12/8（日） 10～12時
羽根木地域のこんなつながり、こんな活動	こんな使い方ができたらいいなを考えよう！	まずは「ここから」自分たちができるお話し活動を検討
これからどんな活動やつながりを作りたいですか？	使い合う仲間や知り合いを増やすには？	利活用計画をつくってみる

第1回のような



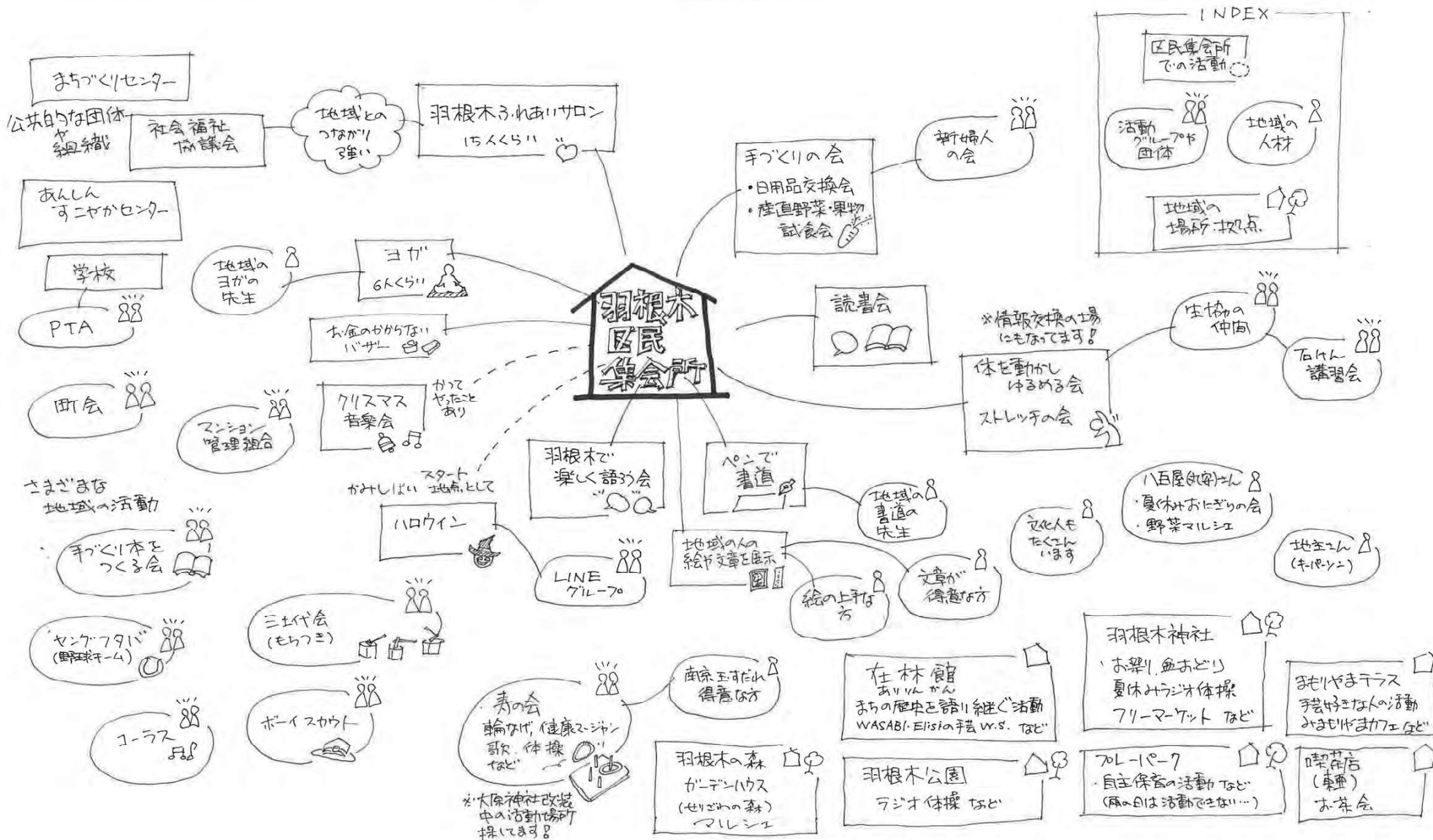
第2回 羽根木区民集会所利活用作戦会議

日時：2024（令和6）年11月24日（日）10時～12時
場所：新代田区民集会所 体育室
主催：世田谷区 北沢総合支所 地域振興課 生涯学習・施設
申込・問合せ 電話 03—5478—8045 FAX03—5478—8004

羽根木区民集会所をとりまく地域活動・資源マップ

2024.11.9 版

※ 第1回 利活用戦略会議を元につくった作業途中のイメージです。みなで充実していきましょう!!



3つのグループに別れて「地域の部活」になりそうなことや活用の課題についても話し合いました。

●地域の部活になりそうなアイデア

- ◎地域の先生 ※多彩な能力をお持ちの地域の方から学ぶ場
- ・折り紙／英語／海外事情（海外からの住民も多い）／刺繍／英語の子ども向けレッスン／演劇（地域の人が役者になってひとつの舞台をつくれたら面白い）／書道（源氏物語の一節を書く「ひとときだけ紫式部になってみませんか」）／あみもの手芸（ちょっとした小物づくり）
- ◎遊び場 ※仲間同士で声かけして集まる
- ・ボードゲーム／モルック／UNO／ポッチャ（誰もができるスポーツ）／健康マージャン（まずはお試しで）
- ◎紙芝居
- ・ウクレレで紙芝居をする方がいる

- ◎学習支援活動 ※子どもの学習支援。勉強、遊び、交流、相談。地域の人も教えて関わる
- ・学習ルーム／おしゃべりルーム
- ◎読書部 ※本を売らない本屋やおすすめの本の交換会
- ・読書会は最初に集会所を立ち上げた世代が続けている
- ◎やってみたい活動
- ・手話の講習会／折り紙／ミニ盆栽教室／歌ったり踊ったりする
- ◎文化人の会
- ・地域の文化人の方の作品展示
- ・地域の文化人とのお話し会
- ◎ランチの会 ※ひとり暮らし高齢者むけの昼食コミュニケーション

●地域のコミュニティ拠点として

- ◎たすけあいの拠点 ※地域ボランティアの拠点にして気軽に手伝える環境づくり
- ・なんでも相談室／赤ちゃん休憩室
- ◎まち歩き拠点 ※羽根木地区の中心なので、羽根木の歴史、防災マップなど→まち歩きの結果を集会所に掲示
- ◎おもちゃ交換会
- ◎多様な居場所
- ・不登校の子どもがくつろげる居場所／車いす使用者の居場所（バリアフリー）

- ◎子ども、親子対象の活動
- ・子育て交流ひろば／絵本の読み聞かせ／体操／乳幼児のつどい／親子で遊ぶ場（小さな子ども対象で親子が2人きりにならなくて良い時間を作りたい）
- ・絵本・手作りおもちゃ
- ◎「地域の部室」で人材確保
- ・いろいろなことが得意な人を見つけて、地域ささえあい活動（サロン）を広げていく
- ・社協のサポーター制度と連携

●使う上での課題

- ◎設備について
- ・スペースに限界→ストレッチは5人までなど人数のイメージを明確にする
- ・用具の見直し→使われてない急須など
- ・掃除用具入れを1か所にまとめては？
- ・トイレは少し広い多目的トイレにした方がオムツ交換もできるし有意義ではないか
- ・（ゲームなどの）道具入れは必要
- ◎ルールづくり
- ・食事（ランチ会）ができるか
- ・掃除道具入れは使って良いか分からない
- ・自分たちで、用具を使いやすくしたり使い終わった際のルールを見直していくことも必要

- ◎道具はどうする？
- ・地域で持ち寄る
- ・マージャン卓（2台くらいあると良い）
- ・ポッチャの道具は持って来られる方がいる
- ・高価なものは買わなくてもできる工夫（ポッチャ用具が高いので「バッチャ」を考案した）
- ・小さな子ども（乳幼児）用のプレイマットがあればよい（床が冷たい）
- ◎運用、運営のまとめ役
- ・まとめ役が必要では？（1～2名）
- ・部室運営委員会をつくる→地域のメンバーで自治
- ・活動中の責任者、部活への登録方法はどんな感じだろうか。
- ・若いお母さんが活動を運営するのは難しいのでサポーターが必要

●進め方のアイデア

- ・掲示板に「やりたいこと」を募って、とりあえず全部やってみる。

- ・活動を立ち上げ継続していくのは大変。全10回とかの講座にして終了できるのが良い。やってみて継続したければ活動を立ち上げる方式。

羽根木区民集会所 利活用作戦会議 第2回のまとめ

日時 2024（令和6）年11月24日
10時～12時
場所 新代田区民集会所 体育室
参加者 16人
テーマ「こんな使い方ができたらいいな」を考えよう！

羽根木区民集会所を、地域の交流や活動を豊かにしていく場所とするため「第2回羽根木区民集会所利活用作戦会議」を開催しました。

第2回目は、第1回目に出された羽根木区民集会所をとりまくさまざまな活動の中から、実際に集会所で活動ができそうなものや、やってみたいものを出し合いました。

第3回は、第1回、第2回の検討結果をもとに「利活用計画」を検討し、できることからスタートすることを考えます。

第3回からの参加もできますので、地域の方々でお声がけをして、より多くの方々のご参加をお待ちしています。

「利活用作戦会議」の進め方

第1回 11/9(土) 10～12時	第2回 11/24(日) 10～12時	第3回 12/8(日) 10～12時
羽根木地域のこ んなつながり、 こんな活動	「こんな使い方 ができたらいい な」を考えよう！	まずは「ここから」自分たちが できるお話し活 動を検討
これからどんな 活動やつながり を作りたいです か？	使い合う仲間や 知り合いを増や すには？	利活用計画をつ くってみる

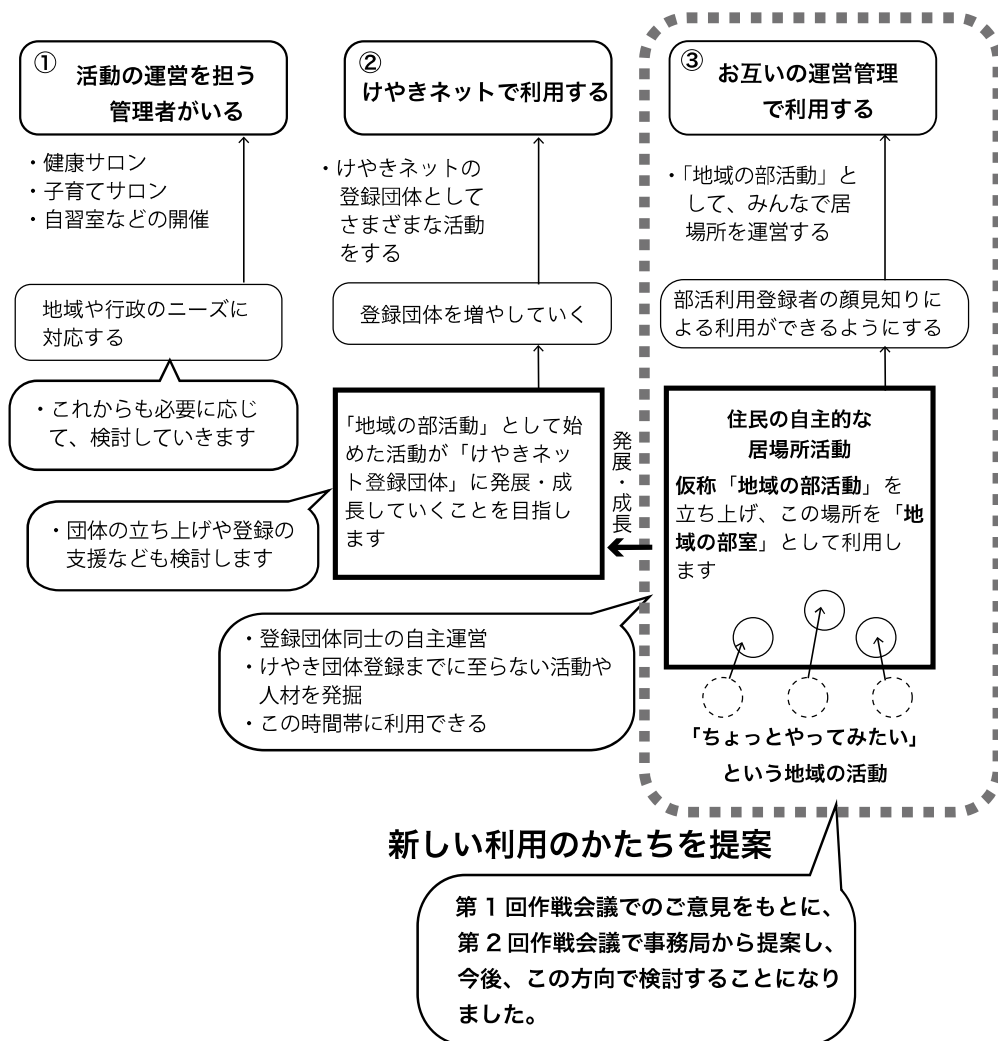
第2回のように



第3回 羽根木区民集会所利活用作戦会議

日 時：2024（令和6）年12月8日（日） 10時～12時
場 所：新代田区民集会所 体育室
主 催：世田谷区 北沢総合支所 地域振興課 生涯学習・施設
申込・問合せ：電話 03—5478—8045 FAX03—5478—8004

羽根木区民集会所 利活用の3つのパターン



全体で利用率の向上を目指します

「地域の部活動」「地域の部室」とは？

※羽根木区民集会所の周辺にたくさんある地域活動の種を、ここでは仮に「地域の部活動」と名付けました。

※3人～5人くらいの仲間で、ちょっとしたおしゃべりの会をしたり、得意なことを教え合ったり…

※そんな身近な活動をするときに、羽根木区民集会所が使えたら良いのではないかな？ それを実現する場所が「地域の部室」です。

※たとえば週1～2回、気軽に集会所が使えたら、可能性が広がりそうです。

「地域の部活動」になりそうな今ある地域の活動 + こんな活動が「地域の部活」になったらいいな、というアイデア



実現に向けた手順や気になること（課題）についても話し合いました。

●ご近助づきあい

- ・場所だけでなく、連絡先が必要

●子育て支援

- ・毎週は厳しいのではないかな
- ・情報をどう発信していくのか
- ・保育士資格のある方にはいてほしい

●おしゃべりカフェ

- ・運営する人はだれか
- ・会場が寂しい感じ、カフェっぽくできないか
- ・飲食ができるようにしたい

●多世代が集まるランチ会

- ・準備のための打合せが必要（献立を決めるなど）
- ・今の集会所では料理、飲食ができない
- ・事前に参加人数を把握しておく必要がある
- ・ランチだけだと女性に偏りそう

- ・ランチ会とゲームコーナーそれぞれにリーダーが必要

●ゲームの会

- ・ルールを知っている人を探せるか
- ・男性が参加しやすくなるような役割づくり

●地域の居場所

- ・社協やあんすこの方に相談できるとよい

●手芸部

- ・季節によってつくりたいものが変わる
- ・プログラムをつくれるとよい
- ・やりたいと声を出せるしくみがまだない

●まちの応接室

- ・会員制などにする必要がある
- ・空いている時間帯を整理して知らせるなど、運営者が必要

●地域の情報や活動情報の発信

- ・すでにやっている活動のことが知られていない
- ・さらに地域の情報を集められると良い
- ・活動のスケジュール一覧表や、チラシを回覧板でまわしたり掲示板に貼ったりできないか
- ・そもそも施設が知られていないので、多くの人の興味があることを実施する
- ・部活動のラインナップを決めて、スケジュールが事前にわかるように

●既存の活動も大切に

- ・新しい活動を立ち上げる時に、既存の活動がないがしろにされていると誤解されないよう、既存の活動も大切であるとしっかり伝える

●集会所のルールの見直し

- ・既存のルールが利用率向上の制約になっていないか、部活の前提として方針を検討する
- 例) 音について問題がおきたから一律禁止ではなく、時間帯によって制限を変えるなど工夫の余地はある
- 例) 飲食はどこまで OK か、ゴミを残さないようにするなど、関連したルールの整備を行う
- 例) 演劇の利用はニーズはあるので、禁止ではなく利用ルールを見直すことで利用率をあげることができるのではないかな

●運営委員会や協議会のようなくみ

- ・たとえば「おしゃべりカフェ」で出た「やってみたいアイデア」を調整し実現する人が必要
- ・羽根木集会所独自の運営主体が立ち上れば多世代の人が関われるようになっていくのでは
- ・「やれる人がやる」ではなく、実行委員会があって、企画をくみだてる

- ・「参加者」から「主催者」になれるようにする
- ・それぞれの人が何かしらの責任をもって、みんなが自分事として出来るようにする

●運営委員会や協議会の役割

- 【企画】全体スケジュールを組み立てる。参加者を募る

- 【資金】鍵の開け閉めを運営委員会で行うことで、活動費を得る。

- ・会費を払って様々な活動に参加できるようにするのはどうか

●集会所の設備上の課題

- ・「ようこそ感」がない入口（フラットと入れる感じがしない）
- ・中で何をやっているのか分からない
- ・利用しているグループ間の交流が少ない（個別に人の交流はある）
- ・道具は集まりそうだが置いておく場所がない
- 例) 輪投げの台
- 例) 麻雀パイのセット、碁石、囲碁の盤などは持っている
- ・和室にカーペットなどを敷きたい
- ・昼の利用率が低い
- ・給湯室が汚い

●けやきネットについて

- ・けやきネットに登録はしていても、インターネットが苦手で羽根木集会所の予約方法が分からないという人がいる（インターネット形式になってから分からなくなった）

●「地域の部活動」の場所の確保

- ・特定の曜日は一日部活動のための時間とするのはどうか

羽根木区民集会所 利活用作戦会議 第3回のまとめ

羽根木区民集会所を地域の交流や活動を豊かにしていく場所とするため「第3回羽根木区民集会所利活用作戦会議」を開催しました。

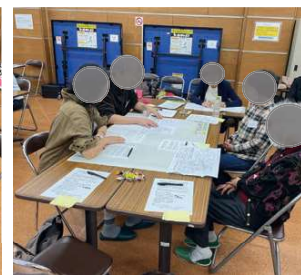
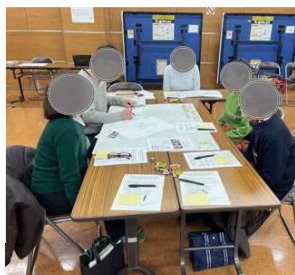
第3回目は、1回、2回の意見やアイデアをもとに、「地域の部活動」として取り組んでみたいもの、それを具体的に実現するための方策「地域の部活動実現ノート」を考えました。

それぞれのグループから出されたアイデアをもとに、全員でシール投票を行い、具体的に取り組みたい内容を検討しました。

【今後について】

地域の部活動の具体化にむけ、区が羽根木区民集会所についての方針を調整・検討します

第3回のようす



日時 2024（令和6）年12月8日
10時～12時

場所 新代田区民集会所 体育室

参加者 17人

テーマ まずは「ここから」自分たちができ
るお試し活動を検討！

す。方針が固まりましたら具体的にできるこ
とから始めてみることにしました。

「利活用作戦会議」の3回の流れ

第1回 11/9(土) 10～12時	第2回 11/24(日) 10～12時	第3回 12/8(日) 10～12時
羽根木地域のこ んなつながり、 こんな活動	「こんな使い方 ができればいい な」を考えよう！ 使い合う仲間や 知り合いを増や すには？	まずは「ここか ら」自分たちが できるお試し活 動を検討 利活用計画をつ くってみる

区で方針を調整・検討



できることから実現しよう！

「地域の部活動 実現ノート」を みんなで書いてみました

●ひとりでふらりと来て集まれる居場所

おしゃべりカフェ

羽根木で楽にくらそう会（案）

- おしゃべりしながら「企画」アイデアが出るかも
- 例）ひかる君を語る会やろう！→書道をしてみたい
- 講座のキャッチコピーは「ひととき紫式部になつてみませんか？」などアイデアがでるかも
- ちょっとコーヒーとケーキ、軽食で
- ・食べるものが出せるといい
- いつもの仲間と違う人に会えるのがいい
- 実施イメージ：平日の午後

多世代が集まるランチ会

みんなで集まってランチを食べる

- 親子（幼児）高齢者など多世代が集まれるように
- ・楽に継続できるスタイルに→その場で作っても、持ち寄りでも、買ってきたお弁当でも OK
- 汁物だけ作ってはどうか
- ・ランチした後にお茶やコーヒーを出す
- ・ゲームコーナーを併設して、男性でも来やすいようにする
- 実施イメージ：月1回 11時～15時くらい

ゲームの会

男性を引っ張りだそう！

- 男性も来やすいように役割をつくってきつかけづくりをする
- ・マージャン
- ・輪投げ
- ・オセロ
- ・囲碁将棋
- ・お茶・コーヒー
- ランチ会と同時開催が良いかも！

手芸部／手芸入門編

手芸をしながらおしゃべり

- 家にある不要なものをリメイク
- ・保育園にもっていくバックやぬいぐるみ
- 家にある材料を持ち寄る
- 簡単なものを教えあう
- ・裁縫が好きな人がいる
- ・先生がいるのではなく教えあう
- 実施イメージ：月1回 午前、午後

●おたがいさまの相談コミュニティ

地域の居場所

行けば一人じゃない、何をやってもいい

- 話をするきっかけを提供する
- ・社協やあんすの方がいて相談をできるようにする
- ・フレキシブルに使えるようにする
- 実施イメージ：月1回

ご近助づきあい

小さな困ったを言える場所

- 自助→「近助」→公助につながる助け合い
- ・お茶を飲みながら
- ・引っ越してきたら最初にふらりとこれる場所
- ・誰に聞いたかわからないが、この場所にすればよいと思える場所にする。
- 例）ゴミ出しのルールを知ってもらう
- 例）雪かきの拠点

子育て支援

未就学児を対象にサポート

元々子育てをしていた世代による部活

- 支援を通しての交流を実現
- ・情報や物の交換を行う
- ・相談が出来るようにする
- ・ベビーマッサージのようなイベントを不定期で行う
- ・普段使いの場所とする
- ・来ている人たちが自主的にイベントを開催するようになる
- 実施イメージ：月1回広めの時間帯で

お気軽スポーツ会

午前はストレッチ、午後は運動

- 活動のとっかかり、たのしければサークル活動に
- ・ミニボッチャ
- ・モルック
- ・ストレッチ
- 実施イメージ：月1回 1日

●すでにある活動を PR して参加者を募集

まちの応接室

個人でも利用できる

- 少人数の集まりの時に
- リモートワークの時に
- 勉強部屋として
- 運営者が必要



読書会

- ・地域の人が集まって読書会
- ・月1回



ヨガ・ストレッチ

- ・講師を招いてヨガとストレッチ
- ・毎週月と木の夜（各5～6人は募集可）



筆ペンの会

- ・講師を招いて習字
- ・木午後（月1回）

